

令和3年3月25日

放課後等児童デイサービス及び児童発達支援事業自己評価の結果について

放課後等児童デイサービス事業及び児童発達支援事業では年に1度、保護者さんと事業所それぞれで自己評価を行い、公表することになっています。その結果を掲載いたします。

【自己評価結果（保護者さん）】

回答数 11名 / 全利用者 14名 回答率 78%

・環境や体制について

改修工事が終わり、外階段の修理、じゅうたんや壁紙の貼り替えなどを行いました。

春以降に中庭の整備を行い、外で遊べるような環境になります。

面談時に活動空間の説明があると良いというご意見もありました。

今後は空間の使い方などについてお伝えできるように努めていきます。

・支援の提供について

コロナの影響で活動の自粛、縮小がありました。保護者さんの評価の中にもコロナだから仕方がないというご意見も頂きながらもマナーにもつながっているのご意見もありましたので、コロナ禍で何ができるのか工夫を凝らす努力をしていきたいと思いをします。

・保護者さんへの説明について

面談の機会を設けたり、情報伝達は、概ねできているという回答を頂きました。

一方、通信などで活動の様子をお伝えすることが不十分であるという評価もありました。

保護者さんに知りたい情報がしっかり伝わるように情報の伝え方を工夫していきたいと思いをします。

・非常時の対応について

ぼれっこでは、避難訓練を必ず年2回実施し、非常災害対策計画も策定しています。保護者さんへの伝達については「わからない」と回答された保護者さんがいらっしゃいました。

面談や通信の場で、防災や非常災害に対する取り組みをしっかりと伝えていきます。

・満足度について

概ね楽しく通って頂いているという回答でした。

これからも療育面のスキル向上などに努めたいと思いをします。

またコロナ禍ではありますので、感染対策を徹底しながら状況に応じて楽しめるプログラムの企画を考えたいと思いをします。

【自己評価結果（事業所）】

・環境や体制について

コロナ禍にあって、パーティションの活用によってスペースの確保に努めました。

また、修繕工事によって、事業所の雰囲気が明るくなりました。

人員体制については、個別対応等や送迎等で一時的に人手が足りなくなる時はありますが、状況に応じてヘルプスタッフによる人員を補充しています。

・業務改善について

業務の改善は、PDCA サイクル（計画～実行～見直しなど）によって固定職員に対しては

実施できていますが、ヘルプ職員については実施できていません。

今後はミーティングの参加等を促して、ヘルプ職員含めて改善を努力していきます。

これまでは事業所への第三者による外部評価は行ってきましたが、今年度はコロナの影響で行うことができませんでした。

・適切な支援の提供について

保護者さんとの面談を通じて、さらに利用者さんから日常の関わりから把握するニーズ、課題、強みを分析し支援計画を作成しています。また、利用者さんの特性・興味関心にあわせ活動プログラムを作成している他、個別日誌にて記録を取り支援の検証・改善につなげていきます。

・関係機関や保護者との連携について

サービス調整会議等には児童発達支援管理責任者研修が出席しています。

また、必要に応じ児童発達支援事業所への見学・情報共有の会議を実施しています。地域で行われる子ども・若者支援に関する会議には法人事務局が出席していますが、今年度はコロナ禍によって会議が延期、中止になるなど連携の機会も減少しました。

・保護者への説明責任について

運営規程や支援内容については、契約時に説明させて頂いています。

また、他にも説明が必要なことが生じた場合は、都度保護者さんへ説明しています。

行事予定・連絡体制は発信できていますが、定期的な通信の発信が少ないため、活動内容をお伝えする等、改善していきます。

・非常時の対応について

避難訓練は毎年2回行っています。

しかし、火災訓練だけではなく、今後は地震・津波に対する避難訓練を実施していきます。昨年度に作成した非常災害対策計画や緊急時避難マニュアルは、職員間では周知できていますが、保護者さんへの周知はできていない方もいます。今後の保護者面談などで周知の徹底をしていきます。

12月には地域活動支援センター親子の家と併設になりました。子ども・子育て支援拠点として事業所間で協力しながら様々な子育てや発達支援のお手伝いができる事業所を目指して、引き続き努力していきます。

新型コロナウイルスの影響が続いていますが、これからも支援や活動を模索しながら運営していきたいと思っております。

